

令和6年度 生徒会選挙始まる

貴重な一票、あなたは誰に錦城を託しますか



特別版

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2024

第467号
生徒会選挙特別版

一面：生徒会選挙目前！
立候補者取材①
二面：立候補者取材②
生徒の関心はいかに

副会長は決選投票、ほか4人は信任投票

本日11月13日(水)、生徒会選挙が行われる。今号では、生徒会に立候補した6人の候補者にインタビューを行い、公約や意気込みを聞いた。

より良い未来の実現を

生徒会長に立候補しているのは、峯村苺花さん(2D)だ。峯村さんは、副会長を努



より早く公約を達成したい

委員会と連携してより速く公約を実現できるように努力していきたい、と意気込みを見せた。

自分のことを「仕事はきっちりこなすけど行事は思いっきり楽しむ、やるときはやるタイプです」と語る峯村さん。錦城生に向けて、「今の会長以上の仕事ができるように努力していきます。たとえ先のことであっても、より良い未来の実現が確実になるように頑張っていきます！」とメッセージを送った。

みんなと進む生徒会に

副生徒会長に立候補した金子優歩さん(1A)は「生徒会には皆さんのトップに立つ存在ではなく、皆さんと横一列になり、進んでいくものだと思えます」と話し始めた。

立候補したきっかけは、ため息をつきながら小平ロード



学校を楽しい場所にしたい

また、自身の性格を「粘り強い」と表現した神田さん。「皆さんの学校生活が今よりもっと楽しくなることをお約束します！」と、錦城生に強いメッセージを送った。



自分の個性や才能を発揮できる学校づくりをしたい

って、イベントの円滑な進行や、クラス、学年との仲を深めるきっかけを作りたいです」と話す。

神田さんは「スマートフォン使用の自由」を契機に、生徒一人ひとりが自分の個性や才能を十分に発揮できるように学校づくりを目指します」と語った。

副会長候補の神田陸翔さん(1E)は「スマートフォンの利用規制の緩和」を公約に掲げている。錦城祭において、関係のシフトや他校の友達との連絡ができないといった悩みを解決しようと考え、立候補に至ったという。神田さんは「スマートフォンを活用によ

より快適な学校生活へ

監査委員長に立候補した新井陽奈さん(2A)は、学校のルール説明を公約に掲げている。「自分の周りの人だけでなく、より多くの人の役に立ちたい」と感じたことが立候補のきっかけだそう。前生徒会では副監査委員長



「丁寧な仕事を心がけます」

を務めていた新井さん。その経験を活かし小さなことにも着目し制服の着用ルールなどの見直し、改善も図っていきたいと語る。

また、自身のアピールポイントを「周りを見て行動したり、全員の意見を尊重し折衷案を出したりすることが得意です」と話してくれた。

新井さんは錦城生に向けて「皆さんの力になれるよう、丁寧な仕事を心がけていきたいと思えます。応援よろしくお願います！」とメッセージを送った。

本選挙の立候補者取材は裏面に続きます。

あなたはもう見た？ 「選挙ポスター」



↑【写真】新校舎一階 中央階段付近に貼ってあるポスター候補者それぞれの公約や意気込みが、個性豊かなポスターに詳しくまとめられている。あなたの一票をより意義のあるものにするために、よく見ておこう。(瑞・普)

「入ってよかった」錦城に

副監査委員長に立候補したのは、小貫日菜子さん(1J)。



小さな不便を解消できるように

城に憧れを抱いていたそう。そんな錦城を多くの人のとって「入学してよかった」と思ってもらえる学校をつくりたいと思い、立候補に至ったという。

小貫さんが挙げている公約は「意見箱の活用」。今年度から導入の始まった貸し傘のように生徒が抱えている小さな不便を解消できるようにまずは、生徒が抱えている小さな不便や意見を集めるためにこの公約を掲げたそうだ。

進化し続ける錦城祭に

錦城祭実行委員長に立候補した黒崎大季さん(1E)は、「自身の経験を生かし、錦城祭をさらなる発展へと導きたいです。」と決意を語った。

立候補のきっかけについて、「以前所属していた錦城祭実行委員としての活動にやりがいを感じ、立候補を決意しました」と話している。



さらなる高みを目指して

祭。現状に満足せず、より高みを目指していきたいという錦城祭への思いが強く感じられた。

錦城生に向けて、「皆さんの思いに残るような最高の錦城祭にするので、応援よろしくお願いします！」と生徒に呼びかけた。

中央委員会も生徒に呼びかけ

今日開かれる生徒総会、及び生徒会選挙について、中央委員会が Google classroom にて生徒に呼びかけを行っている。以下に、内容を抜粋した。注意事項なども書かれているので、必ず Google classroom の記載内容とともに確認しておこう。(瑞・普)

【(前略)11月13日(水)のLHRに定例生徒総会を行います。内容は、生徒会則の誤字と一部内容の訂正です。(中略)当日は時間がないため、資料の内容を事前に絶対に把握しておいてください。(中略)時間の関係で本番当日の質問は受け付けません。当日は賛成反対の投票をフォームで行うので必ずパソコンを持ってきてください。また、当日総会中に資料を読みたい方は、パソコンに資料をダウンロードして体育館に向かうようにお願いします。(体育館のWi-Fiが弱い可能性があるため)】(Google classroom より抜粋、一部変更)

自分の意思をもって投票を



「議長として初仕事でしたが、苦勞しながらもなんとか引き継ぎました」

本日開催の生徒会選挙の前には生徒総会が行われる。今回の生徒総会では、生徒会則の誤字訂正、内容の訂正に関して投票が行われる。

今回の生徒総会について代議委員長の腰原佑哉さん(2B)は、今回の総会では改正内容について確認する時間は設けられていないため、必ず5限までに各自が内容を確認したうえで臨んでほしいと話す。また、錦城生に向けて「今後の錦城を左右する大切な投票となるので、各自が自分の意志をもって投票に臨んでほしいと思います」とメッセージを送った。(蘭)



↑【写真】副生徒会長に立候補している金子さん(左)、神田さん(右)朝、生徒の登校時に挨拶をし、積極的に選挙活動を行う

投票者の思いをクローズアップ 錦城生の関心は…

今回行われる生徒会選挙に、錦城生たちはどの程度関心を寄せているのだろうか。匿名で2人の生徒に、今回の選挙に関する意見を聞いた。

ある生徒Aさんは「あまり関心がない」という。理由のひとつとして、今選挙に信任投票が多いことを挙げている。「自分の票や意見が選挙結果に大きな影響を及ぼすと思わないし、よく知らない候補者は不信任にしやすい。それにやる気があるならやってもらいたい」と話した。

同様に「どちらかというと関心はあまりない」と語るのは生徒Bさん。掲示されたポスターから、立候補者とおおまかな公約は把握しているが、強い印象には残っていないという。一方で、選挙の運営に対しては、現在は放送で行っている候補者演説の映像化を提案した。映像にするとより多くの人に候補者の姿を届けられることができるほか、聞き手としても、目と耳の両方から情報を得ることができて印象に残りやすいし、わかりやすいと考えたそうだ。

これからの錦城を創っていく候補者たちや選挙の運営に期待する声も多くある中、他方では、今選挙は信任投票がほとんどということもあり、前向きに選挙に関わることは難しいという人もいるようだ。

生徒の関心を高めるためにも、情報発信やPR、生徒の意見収集がさらに活発に行われるようになることを期待したい。(泰)

今年からの新たな試みも 記名式投票を導入

いよいよ始まる生徒会選挙について、選挙管理委員会委員長の黒須絢夏さん(2E)に話を聞いた。黒須さんによると今回の選挙では、例年どおりの放送演説に加えて「より候補者を身近に感じてもらえるように」と任意の挨拶運動も可能とした。また投票方法については、投票する候補者に○をつけていた昨年に対し、今年が実際に



「真剣に考え投票してほしい」

最後に黒須さんは、生徒に向けて「錦城高校をより良いものにするために、皆さん真剣に考え投票をして欲しいです」と呼びかけた。(瑞)

また、新たな試みとして、選挙当日のプログラムの配布も行う予定だそう。「候補者の名前、写真、公約などを記載して、教室での投票時の参考にしてもらう予定です」と教えてくれた。